

# 第3次 能美市行財政改革大綱

令和3年度の取組状況  
と5年間の取組結果



令和4年6月  
能 美 市

# 目 次

1. 第3次能美市行財政改革大綱の取組結果について . . . . .	1
2. 令和3年度の取組状況	
(1) 効率的・効果的な行政運営 . . . . .	2
(2) 持続可能な財政運営 . . . . .	7
(3) 多様な主体との協働推進 . . . . .	21
3. 5年間の取組結果 . . . . .	26

# 1. 第3次能美市行財政改革大綱の取組結果について

能美市ではこれまで、平成18年3月に策定した第1次能美市行財政改革大綱を起点として、第2次能美市行財政改革大綱の実施期間である平成28年度までに、組織・機構の見直しをはじめ、定員管理及び給与の適正化、公共施設等の効率的な管理運営、事務事業の見直し、公共工事のコスト縮減等の行政コスト削減を重点的に取り組んで参りました。

また、平成29年6月に策定した第3次能美市行財政改革大綱では、「効率的・効果的な行政運営」、「持続可能な財政運営」、「多様な主体との協働推進」の3つの基本方針のもと、行政コストを削減する「量」の改革を継続しつつ、職員一人ひとりの意識改革を進め、より質の高い行政組織への転換を図る行政サービスの「質」の向上に初めて取り組み、「量」・「質」合わせて45項目の取り組みを進めてきました。

この度、第3次能美市行財政改革大綱に定めた取組期間が令和3年度までで終了しましたので、令和3年度（最終年度）の取組状況並びに5年間の効果額及び目標達成状況を取りまとめるとともに、その取組結果を公表いたします。

令和4年6月

## (1) 取組項目数

「量の改革」取組項目数：12項目、「質の改革」取組項目数：33項目

## (2) 取組結果に基づく効果額（取組期間累計）

改革の区分	効果額 (千円)	取組項目数
量の改革	670,207	9
質の改革	15,414	6
合計	685,621	15

## (3) 取組結果に基づく目標達成状況

改革の区分	100%目標を達成した 取組項目数	80%以上目標を達成した 取組項目数	目標達成が80%未満の 取組項目数
量の改革	7	2	3
質の改革	18	7	8
合計 (取組項目数/割合%)	25 / (55.6%)	9 / (20.0%)	11 / (24.4%)

※詳細な取組結果については、次ページ以降に記載しております。

## 2. 令和3年度の取組状況

## (1) 効率的・効果的な行政運営

### ① 職員の能力開発と資質の向上

#### No.1【質の改革】人事評価制度の効率的運用と利活用の推進（総務課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
人事評価制度の基準改定、手法の見直し及び安定的な利活用のための基準作成	職員アンケートによる効果があったとする回答率	-	⇒ 検討・実施	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 再検討・調整	⇒ 実施	⇒ 実施	60%以上  【見直し】 H30目標達成により、 75%以上
			目標					
			30.0%	40.0%	72.0%	74.0%	75.0%	
			実績					
			9.8%	70.6%	65.4%	72.9%	66.2%	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・令和元年度に見直した事業活動・役割達成度に重点をおいた評価方法により人事評価を引き続き実施した。 ・評価結果を職員の能力向上及び評価の基準として活用を進めた結果、職務における意識の向上につながったとする回答割合は66.2%となった。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 人事評価制度の定着が図られた。 <b>【課題】</b> 評価者の公正な姿勢保持による職務の意識向上を図る。 <b>【今後の取組】</b> 第2次能美市総合計画（市民目線による行政運営）において進捗管理し取り組みを行う。							

#### No.2【質の改革】職員の研修受講による資質の向上（総務課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
研修計画等の検討及び職員の資質向上を目指し研修の積極的活用を図る。	アカデミー、NOMA、自治大学の受講者数	(H28) 12人	⇒ 検討・実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	(各年) 18人
			目標					
			-	14人	15人	16人	18人	
			実績					
			12人	15人	11人	2人	3人	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種研修の開催自体が中止となったり、庁内で受講見合わせの方針が示されたことにより、受講者数が伸び悩んだ。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 職員の資質と学習意欲の向上が図られた。 <b>【課題】</b> 習得した知識や能力の職場への還元を図る。 <b>【今後の取組】</b> 第2次能美市総合計画（市民目線による行政運営）において進捗管理し取り組みを行う。							

## ②事務の効率化の推進

### No. 3【量の改革】事務の効率化の推進による窓口証明発行手数料の適正化（市民サービス課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
窓口証明発行コストの適正化に努め、受益と負担の公平性を保った上で行政サービスを提供できるよう財源の確保に努める。	証明発行手数料の増収	(H28) 9,600千円	⇒ 見直し・検討	⇒ 見直し・検討	⇒ 実施	⇒ 継続	⇒ 継続 (目標達成)	R1~R3 各年11,700千円
			目標					
			—	—	11,700 千円	11,700 千円	11,700 千円	
			実績					
			—	—	12,033 千円	12,020 千円	11,779 千円	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・証明書発行手数料改正（令和元年7月施行）により、受益と負担の公平性を図った窓口手数料を確保した。 （改正内容：住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票などの手数料を200円から300円に改正）								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 証明書発行手数料改正（令和元年7月施行）により、窓口証明発行コストの適正化を図り、窓口での手数料を100円増額したことで、目標の証明発行手数料の増収達成が図られた。							

### No. 4【質の改革】定型業務の効率化の推進（財政課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
既に作成した定型業務のマニュアルの更新及び追加により、更なる効率化を図り、各作業担当者の負荷軽減及び精密化を図る。	繁忙期（5月～7月）の時間外削減	—	⇒ 見直し	⇒ 実施・調整・作成	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施	⇒ 実施	20時間削減  【見直し】 R1目標達成により、 35時間
			目標					
			—	5時間 削減	20時間 削減	35時間 削減	35時間 削減	
			実績					
			—	30時間 削減	40時間 削減	23時間 削減	16時間 削減	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・業務のマニュアル化に伴い、時間外勤務の縮減に向けた取り組みを実行した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 定型業務のマニュアルの更新等により、繁忙期の時間外勤務の削減や担当者の負荷軽減及び精密化が図られた。							

No. 5【質の改革】行政評価に基づく効果的な施策展開の推進（企画デジタル課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
新行政評価システムにより、第2次総合計画及び総合戦略の目標指標を進捗管理し、事務事業の評価・検証を行う。	すべての施策レベルと主要事業の評価を実施	-	⇒ 実施	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	全評価対象事業 H30評価対象を主要事業に見直し
			目標					
			400事業	140事業	173事業	134事業	141事業	
			実績					
			727事業	140事業	173事業	134事業	141事業	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・7分野、全施策（42施策）及び主要事業の評価を実施した。 （141事業を評価し、結果を改善に役立てた）								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 7分野42施策の進捗管理を毎年度行うことで、計画を常に意識しながらPDCAが行われ、効果的な施策展開の推進が図られた。							

No. 6【質の改革】情報化社会への対応（企画デジタル課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
情報の整理・分析・活用の重要性の啓発及び職員の情報リテラシーの向上を図り、ICTを活用した業務改善の基礎とする。	eラーニングの受講率	-	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	100%
			目標					
			60%	70%	100%	100%	100%	
			実績					
			100%	100%	100%	100%	100%	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・業務端末を利用する正規・非常勤職員全員（消防本部、保育園等を含む）を対象に、「個人情報保護コース」「サイバーセキュリティコース」のeラーニングを実施。その他に、業務に応じて「ICT入門コース」、「マイナンバーコース」、「情報セキュリティコース」の中から1つのeラーニングを実施。受講率は全コースとも100%を達成した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 職員がデジタルを活用する上で重要となる個人情報保護やサイバーセキュリティなど、情報セキュリティに関する知識の習得が図られた。また、大綱期間中の情報セキュリティインシデントの発生件数が0件であった。							

### ③市民目線に立った行政サービスの提供

#### No. 7【質の改革】マイナンバーカードの取得及び利用促進（市民サービス課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
マイナンバーカードの取得及び利用を推進し、窓口交付以上に利便性を高めたコンビニ交付へシフトさせる。	マイナンバーカード交付枚数	-	⇒ 見直し	⇒ 見直し	⇒ 実施	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 継続	累計3,500枚  【見直し】 R2目標達成により、 累計26,600枚
			目標					
			2,300枚	累計 2,500枚	累計 3,000枚	累計 3,200枚	累計 26,600枚	
			実績					
			783枚	累計 1,329枚	累計 2,726枚	累計 10,340枚	累計 17,926枚	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・マイナンバーカードの利便性とマイナンバーの普及を広報誌等で積極的に周知した。 ・出張申請受付を各町会の老人クラブを対象に実施した。 ・毎月2回のマイナンバーカード休日申請・交付窓口を実施した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 利便性等について周知した結果、マイナンバーカードの交付枚数が17,926枚まで進んだ。 <b>【課題】</b> コロナ禍による制限により、地域の公民館等への出張申請窓口の開催が進まなかった。 <b>【今後の取組】</b> 能美市行政経営プログラム（2022▶2026）において進捗管理し取り組みを行う。							

#### No. 8【質の改革】町会・町内会街灯LED化の推進（生活環境課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
街灯（防犯灯）のLED化を促進し、安全安心なまちづくりとCO2削減による地球温暖化防止を推進する。	LED化率	(H28) 55.8%	⇒ 実施	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	70.0%  【見直し】 H30目標達成により、 85.0%  【見直し】 R1目標ほぼ達成 により、 95.0%
			目標					
			60.8%	65.5%	80.0%	90.0%	95.0%	
			実績					
			64.7%	76.1%	84.7%	86.7%	87.9%	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・町会・町内会長会等で補助制度を紹介するなどLED化を推進した結果、町会・町内会管理の街灯（防犯灯）のLED率が86.7%から87.9%に上昇した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 町会・町内会長会等の場で補助制度の周知を行ったことにより、LED化の推進が図られた。 <b>【課題】</b> 町会・町内会間でLED化の進捗率に差があり、丁寧な周知等が必要となっている。 <b>【今後の取組】</b> 第2次能美市総合計画（防犯・交通安全の充実）において進捗管理し取り組みを行う。							








No.9【質の改革】子どもを取り巻く環境（認定こども園、児童館等）の充実（子育て支援課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
市立認定こども園（保育園）、児童館、放課後児童クラブ、子育て支援センター、子ども発達支援センター及び病児保育センターの子育て関連施設の運営や施設維持管理方法等の課題解決に向けて、包括的に検討する。	子育て関連施設の様々な課題解決にむけて包括的に検討し、方針を決定	—	➡ 調査	➡ 調整	➡ 検討	➡ 検討・ 確定	➡ 実施 (目標達成)	—
			目標					
			先進自治体 事前調査	検討委員会 設立	認定こども園 委員会の設置 児童館の廃止	地元等説明会 を開催 運営費補助 を協議調整	移管先法人によ るこども園開園 移管先法人による 新園舎開園	
			実績					
			先進自治体 事前調査	検討委員会 設立	認定こども園 委員会の設置 児童館の廃止	地元等説明会 を開催 運営費補助を協議 調整	移管先法人によ るこども園開園 移管先法人による 新園舎開園 (R4.5)	
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年4月より、旧園舎で移管先法人による、幼保連携型認定こども園が開園した。また、移管先法人による新園舎建設（令和4年5月新園舎開園）を進め、子どもを取り巻く環境の充実を図った。</li> </ul>								
5年間の取り組み に対する まとめ	<p>【成果】市立認定こども園の民営化第1号に取り組み、民間活力の導入、新園舎建設による安全安心な保育・幼児教育環境の推進が図られた。また、令和元年度、辰口中央児童館開館に併せて久常・岩内の2児童館を閉鎖し、児童館の統廃合に取り組んだ。</p>							






## (2) 持続可能な財政運営

### ① 事務事業の最適化

No. 10 【量の改革】 経常収支比率の抑制（財政課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
枠配分方式による 予算編成に取り組 んでいるが、さら なる経常収支比率 の抑制につながる 手法を検討・実践 する。	経常収支比率	(H27) 92.1%	 継続	 継続	 継続	 検討・ 継続	 継続 (目標達成)	91.0%以下
			目標					
			92.0%	91.8%	91.5%	91.3%	91.0%	
			実績					
			94.5%	92.5%	92.7%	91.3%	90.4%	
【令和3年度の取組状況】 ・ 予算要求区分を前年に引き続き経費区分を4区分で実施した。 ・ 厳しい財政状況を庁内で共有するため予算編成方針通知に合わせ予算説明会を開催した。								
5年間の取組み に対する まとめ	【成果】 予算の経費区分の細分化や、予算説明会の開催を通して職員に対し経常経費の削減意識の醸成を図るとともに、経常一般財源の確保に努めることで目標を達成した。							

No. 11 【量の改革】 市民の自主的な運営参加による生涯スポーツ環境の構築（スポーツ振興課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
(公財) 能美市ふ るさと振興公社へ 委託したスポーツ 健康教室を更に発 展させ(公財) 能 美市ふるさと振興 公社の完全自主運 営事業とする。	スポーツ健康 教室開催補助 金	-	 調査・ 調整 (目標達成)	 継続 (目標達成)	 継続 (目標達成)	 継続 (目標達成)	 継続 (目標達成)	1,654千円削減
			目標					
			-	1,654千円 削減	1,654千円 削減	1,654千円 削減	1,654千円 削減	
			実績					
			1,654千円 削減	1,654千円 削減	1,654千円 削減	1,654千円 削減	1,654千円 削減	
【令和3年度の取組状況】 ・ 前年に引き続き(公財) 能美市ふるさと振興公社の運営努力により、目標であったスポーツ健康教室開催補助金の削減を達成した。								
5年間の取組み に対する まとめ	【成果】 市からの補助事業として行っていたスポーツ教室が(公財) 能美市ふるさと振興公社の完全自主運営事業となり、目標の経費削減が図られた。							

No. 12 【質の改革】 自主防災組織の組織率の向上（危機管理課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等	
			H29	H30	R1	R2	R3		
自主防災力（共助）の向上のため、全町会・町内会に自主防災組織の結成を促す。また、自主防災組織向けの各種補助金要綱の見直しと統合を行う。	自主防災組織の結成数	(H28) 67組織	⇒ 検討	⇒ 検討	⇒ 見直し・ 周知・ 検討	⇒ 実施・ 検討 (目標達成)	⇒ 実施	72組織  【見直し】 R2目標達成により、 74組織	
			目標						
			70組織	71組織	72組織	72組織	74組織		
			実績						
			69組織	71組織	71組織	73組織	73組織		
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未結成の1町会に結成を促したが、新型コロナの影響もあり実現しなかった。</li> </ul>									
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】 自主防災組織の結成がほぼ全ての町会・町内会において達成された。</p> <p>【課題】 コロナ禍の影響で未結成の1町会に対して結成に向けた働きかけを続けていく必要がある。</p> <p>【今後の取組】 第2次能美市総合計画（消防・防災体制の強化）において進捗管理し取り組みを行う。</p>								

No. 13 【質の改革】 家族介護支援に係る高齢者福祉制度の見直し（福祉課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等	
			H29	H30	R1	R2	R3		
介護用品購入助成事業について、利用状況を把握し、適宜見直しを図る。	介護用品購入助成事業の対前年度伸び率	(H28決算⇒H29 予算) 2.1%	⇒ 調査・ 見直し	⇒ 調整・ 見直し	⇒ 見直し (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施	1%以下	
			目標						
			1%以下	1%以下	1%以下	1%以下	1%以下		
			実績						
			6.8%	8.3%	△11.7%	0.4%	2.4%		
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関にサービス概要と適正利用について周知・指導し、店側の適正利用に関する意識の向上に努めたが、対前年度伸び率が目標の1.0%に届かなかった。</li> </ul>									
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】 適正利用について周知・指導し、必要なサービスの提供が図られた。</p> <p>【課題】 高齢者人口が増加する中、介護用品購入の需要が高まっている。</p> <p>【今後の取組】 第2次能美市総合計画（高齢者福祉の充実）において進捗管理し取り組みを行う。</p>								

No. 14 【質の改革】 任意予防接種の公費助成のあり方の検討（健康推進課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
感染症を予防するため任意予防接種の公費助成のあり方を検討する。	インフルエンザ予防接種率	(H28) 28.3%	→ 継続	→ 継続	→ 継続 (目標達成)	→ 継続 (目標達成)	→ 継続	55.0%
			目標					
			46.0%	47.5%	50.0%	55.0%	55.0%	
			実績					
			45.0%	45.7%	56.1%	56.5%	42.5%	
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ対策として、インフルエンザの助成対象の拡大（高校生・妊婦）と費用助成額の増額を継続したがインフルエンザの流行がなかったことにより、接種率は低下した。</li> <li>・保育園において感染予防について注意喚起した。</li> </ul>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】 公費助成によりインフルエンザ予防接種率が向上し、感染予防が図られた。</p> <p>【課題】 コロナ禍における接種率向上とタイムリーな感染予防の注意喚起が必要となっている。</p> <p>【今後の取組】 第2次能美市総合計画（健康づくりの推進）において進捗管理し取り組みを行う。</p>							

No. 15 【質の改革】 脳の健康度チェックによる認知症等の早期発見、治療、進行防止（健康推進課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
76歳に到達する市民へ「脳の健康度チェック」を実施し、早期発見及び必要者は介護予防教室に繋げる。	認知症を早期発見し、早期治療や進行防止に効率的に繋がられる体制をとる	-	→ 見直し・調整 (目標達成)	→ 新体制 (目標達成)	→ 継続 (目標達成)	→ 継続 (目標達成)	→ 見直し・継続 (目標達成)	-
			目標					
			課題、今後の事業の在り方を検討	体制の継続	体制の継続	体制の継続	体制の見直し、継続	
			実績					
			課題、今後の事業の在り方を検討	体制の継続	体制の継続	体制の継続	体制の見直し、継続	
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんしん相談センターによる地域活動支援を延べ148回実施した。</li> <li>・認知症初期集中支援チームによるケース支援のための認知症早期発見の目安によるチェックを実施した。</li> </ul>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】 認知症がある人を早期に支援する体制の構築が図られた。</p>							

No. 16【質の改革】国民健康保険特別会計の健全な運営（保険年金課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
法定外繰入に頼ることなく、国民健康保険特別会計の健全運営を目指す。また、適正な保険税額の設定及び保健事業の効果的な運営により医療費の抑制を図る。	・保険税滞納世帯の割合	(H28) 16.5%	⇒ 継続	⇒ 見直し	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	12%
			目標					
	・特定健康診査受診率	52.9%	16%	15%	14%	13%	12%	56%
			54%	54%	54%	56%	56%	
			実績					
		15.5%	14.0%	13.7%	15.0%	12.9%		
		53.5%	53.8%	56.2%	56.3%	38.5%		
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税務債権課等と連携し滞納者との接触を進め、預貯金調査を行い、収納率向上に努めた。</li> <li>・特定健診については、コロナ禍の状況でも安心して受診できる健診体制を整備したが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、集団検診を予約制にしたことで、健診受診者数が減少した。</li> <li>・特定健診を含め、特定保健指導、生活習慣病保健指導を進め、医療費の抑制に取り組んだ。</li> </ul>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】滞納世帯割合の減少や健診受診率の向上（R3除く）が図られた。</p> <p>【課題】コロナ禍においても健診対象者が安心して受診できる環境を整備し受診率の向上につなげる。</p> <p>【今後の取組】第2次能美市総合計画（健康づくりの推進、公的保険制度の運営）において進捗管理し取り組みを行う。</p>							

No. 17【質の改革】公園整備に係る補助金制度の見直し（まなび文化課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
補助金額と交付条件の整理及び他課との類似補助金制度を整理する。また、各団体の自立を目指し、自主財源での活動ができるよう支援を行う。	補助金制度の適切・効果的な執行が図られるよう整備	-	⇒ 調査・検討	⇒ 見直し・協議	⇒ 周知・実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	-
			目標					
			問題点・課題点を調査	補助金内容の見直し	新たな補助金の周知	新たな補助金の周知・活用	新たな補助金の周知・活用	
			実績					
			問題点・課題点を調査	補助金内容の見直し	新たな補助金の周知	新たな補助金の周知・現地調査	新たな補助金の周知・活用	
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会・町内会への補助制度の周知を行った。</li> <li>・より安全安心な遊具の利用の為補助制度の活用を案内した。</li> </ul>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】子どもの広場に設置されている遊具について、安心安全な遊具の利用に資するよう補助の充実・周知を行い、補助金制度の効果的な執行と各団体の自立支援が図られた。</p>							

## ②積極的な財源の確保

### No. 18 【量の改革】 財源確保と市有地維持管理費の経費削減（管財課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
市有遊休資産を積極的に売却または賃貸し、財源の確保に努める。	市有遊休資産を売却	—	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続 (目標達成)	➡ 継続	➡ 継続	累計 78,462千円  <b>【見直し】</b> <small>R1目標達成により、</small> 累計 119,690千円
			目標					
			31,941 千円	累計 40,648 千円	累計 70,648 千円	累計 114,290 千円	累計 119,690 千円	
			実績					
			11,072 千円	累計 19,779 千円	累計 96,860 千円	累計 114,290 千円	累計 114,290 千円	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・売払いをしている土地の情報をHP等で周知し、売払いに向けた情報発信を進めた。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 市有遊休資産を売却し、財源の確保と維持管理費の経費削減が図られた。 <b>【課題】</b> 売払いが進まない遊休資産の売払いを進める。 <b>【今後の取組】</b> 能美市行政経営プログラム（2022・2026）において進捗管理し取り組みを行う。							

### No. 19 【量の改革】 ふるさと納税の推進（企画デジタル課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
能美市に直接足を運んでもらい、寄附者から更なる魅力を拡散してもらえる返礼品を絶えず提供する。また、企業版ふるさと納税の導入を検討する。	ふるさと寄附金額	(H28) 32,212千円	➡ 継続・ 検討	➡ 実施 (目標達成)	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続 (目標達成)	35,000千円  <b>【見直し】</b> <small>H30目標達成により、</small> 48,000千円  <b>【見直し】</b> <small>R1目標達成見込により、</small> 56,000千円
			目標					
			32,320 千円	33,694 千円	39,984 千円	56,000 千円	56,000 千円	
			実績					
			32,370 千円	36,440 千円	46,583 千円	47,304 千円	76,226 千円	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・個人版ふるさと納税返礼品を令和3年度当初355品から年度末までに472品に拡充した。 ・企業版ふるさと納税を働きかけ、11,000千円の企業版ふるさと納税をいただいた。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 返礼品数を毎年度増加させ充実させていくことや、人気商品である九谷焼、米関連の在庫確保により、個人版ふるさと納税額の目標達成が図られた。また、企業版ふるさと納税についても実績があった。							

No. 20 【質の改革】 収納率の向上（税務債権課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
滞納整理指導員の採用、滞納整理機構との連携強化、コールセンターによる初期・少額滞納者への電話催告実施及び可処分資産公売等により収納率の更なる向上を図る。	現年度収納率	—	➡ 継続 (目標達成)	➡ 継続 (目標達成)	➡ 継続	➡ 継続 (目標達成)	➡ 継続 (目標達成)	99.3%~99.5% を維持
			目標					
	過年度収納率	—	99.3%~99.5%	99.3%~99.5%	99.3%~99.5%	99.3%~99.5%	99.3%~99.5%	31.0%以上 を維持
			30.2%	30.4%	31.0%	31.0%	31.0%	
			実績					
			99.4%	99.4%	99.5%	99.3%	99.5%	
			32.0%	32.7%	27.6%	35.5%	37.7%	
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滞納整理機構への派遣継続による徴収技術の向上、徴収専門員の指導のもと困難案件対応、コールセンターによる滞納発生の初期対応を実施した。</li> </ul>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】滞納整理機構への派遣継続による徴収技術の向上や徴収専門員の指導による困難案件対応、コールセンターによる滞納発生の初期対応を実施したことで、現年度収納率及び過年度収納率の目標維持が図られた。</p>							

No. 21 【量の改革】 債権管理の一元化（税務債権課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
複合的滞納者への徴収体制を見直し、税・料金の一元的徴収を実施することで、適正な債権管理により未収債権の縮減を図る。	未収債権額	—	➡ 継続	➡ 継続 (目標達成)	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続 (目標達成)	<p>累計 289百万円削減 (H27実績868百万円の 1/3)</p> <p>【見直し】 H30目標達成により、 累計 434百万円削減 (H27実績868百万円の 1/2)</p>
			目標					
			72 百万円	累計 159 百万円	累計 343 百万円	累計 388 百万円	累計 434 百万円	
			実績					
			191 百万円	累計 297 百万円	累計 350 百万円	累計 405 百万円	累計 434 百万円	
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>債権所管課職員の研修を実施した。</li> <li>税・強制徴収公債権の徴収一元化を継続した。</li> <li>債権放棄を実施した。</li> </ul>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】債権所管課職員の研修、税・強制徴収公債権の徴収一元化及び債権放棄等、債権の適正な管理・対応を実施した結果、未収債権額削減の目標達成が図られた。</p>							

No. 22 【質の改革】 作成伝票の整理による枚数の削減（会計課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
更新した財務会計システムの機能を活用し、データを集約することで伝票作成の枚数を削減する。	データーを集約	—	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続 (目標達成)	—
			目標					
			集約できる範囲の調査	マニュアル化	事務の見直し改善	事務の見直し改善	事務の見直し改善	
			実績					
			集約できる範囲の調査 取りまとめ計画策定	マニュアル化	システムの検討を実施	システムの代替検討 一部集約化	事務の見直し改善	
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費等の支払いにおいて、取りまとめが可能なものについて集約化を図り、併合伝票の活用により枚数を削減した。</li> </ul>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】光熱水費の伝票について、集約可能な条件の伝票を取りまとめ、支出票の削減により効率化を図り、集約による発行手数料の割引等の活用により、経費の削減が図られた。</p>							



### ③公共施設の最適な配置と効率的・効果的な管理

No. 23 【量の改革】し尿処理施設の老朽化対策及び処理経費の削減（生活環境課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
施設の老朽化対策にともない一部事務組の広域化によるスケールメリットを活かし、処理経費の削減を図る。	汚水処理施設共同整備（MICS）事業により施設を整備	—	⇒ 準備	⇒ 準備	⇒ 準備	⇒ 準備	⇒ 準備・実施	—
			目標					
			3市1町により負担割合の検討	3市1町により負担割合の検討	し尿投入施設の整備	し尿投入施設各種工事	し尿投入施設各種工事施設完成	
			実績					
【令和3年度の取組状況】			MICS事業へ移行準備、基本協定締結	し尿投入施設基本・詳細設計等を実施	し尿・浄化槽汚泥受入施設建設工事発注	し尿投入施設各種工事着工	し尿投入施設各種工事	
<p>・3市1町によるMICS事業への移行のため、し尿・浄化槽汚泥受入施設建設工事等を実施。                  ※工事着手後に想定以上の湧水があり、工法が変更となり完成が令和4年5月に延長となった。</p>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】し尿・浄化槽汚泥受入施設（3市1町によるMICS事業）の建設が進み令和4年5月に完成となる。                  【課題】新たなし尿・浄化槽汚泥受入施設までの距離の延伸により、運搬経費の増が見込まれる。                  【今後の取組】能美市一般廃棄物処理基本計画において進捗管理し取り組みを行う。</p>							

No. 24 【量の改革】学習施設等の運営方法の見直し（まなび文化課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
根上総合文化会館・学習センターにおいて、利用状況を調査し、各施設の開館時間や利用規約、また使用料の減免要件の見直し等、市民がさらに有効利用できる施設運営を目指す。	各施設の利用者の意向を踏まえながら、運営方法の見直しを行い施設の有効活用を目指す。	—	⇒ 検討	⇒ 検討	⇒ 調査	⇒ 検討	⇒ 検討	—
			目標					
			利用状況、利用者ニーズ調査	効率的な運営方法を検討	使用料減免状況調査	検討会による今後の方針を検討	検討会による料金設定や減免基準を検討	
			実績					
【令和3年度の取組状況】			利用状況、減免状況調査	検討会発足	検討会による市内施設の使用状況について調査・検討	検討会による今後の方針を検討	料金設定や減免基準を検討	
<p>・市内公共施設の使用料の設定基準及び減免基準等を検討した。</p>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】各施設の利用状況を確認し、施設の有効利用に向けた運営の検討を行うことができた。                  【課題】施設の使用料や減免基準の整理及び改定が必要となる。                  【今後の取組】第2次能美市総合計画（生涯学習の推進）において進捗管理し取り組みを行う。</p>							

No. 25 【量の改革】 下水道接続率の向上（上下水道課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
生活環境の推進を図るため、接続率の向上及び増収を目指す。	下水道料金	-	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	<b>増収額</b> <b>累計</b> <b>10,509千円</b> <b>【見直し】</b> <small>R1実績による</small> <b>累計</b> <b>6,406千円</b>  <b>【目標進捗率】</b> <b>下水道接続率</b> <b>R3実績：93.1%</b> <b>目標：93.1%</b> <b>進捗率100%</b> <b>（目標達成）</b>
			目標					
			1,437千円	累計 3,433千円	累計 5,575千円	累計 5,852千円	累計 6,406千円	
			実績					
			2,867千円	累計 5,171千円	累計 5,171千円	累計 5,171千円	累計 5,171千円	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・ 広報活動や未接続世帯への訪問及び電話による接続依頼を実施した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 広報活動や未接続世帯への訪問及び電話による接続依頼を行い、下水道接続率向上及び下水道料金の増収が図られた。							

No. 26 【量の改革】 病院経営の安定化に向けた収益の増加  
及び地域包括ケアシステムの構築に向けた病棟再編の推進（市立病院）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
病院新改革プラン（H29～R2）に基づき、収益の改善を図るとともに、既存病棟を時代のニーズに合わせて再編し、地域包括ケアシステムの構築を図る。	病床再編による収益改善額	-	⇒ 調整・実施	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続・検討	⇒ 継続	<b>累計</b> <b>82,572千円</b>  <b>【見直し】</b> <small>R2実績による</small> <b>累計</b> <b>119,866千円</b>
			目標					
			23,184千円	累計 49,336千円	累計 74,886千円	累計 94,559千円	累計 119,866千円	
			実績					
			0千円	累計 19,279千円	累計 19,279千円	累計 19,279千円	累計 19,279千円	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・ 病棟再編を進めた。 ・ 入院収益はコロナ禍の影響を受けたが、コロナ病床・病棟の設置による補助を受けるなど、経営改善に取り組んだ。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 病床再編による人員の適正配置を行うことで、人件費の抑制、その他の支出の抑制が図られた。 <b>【課題】</b> 施設や設備の老朽化による修繕費の抑制、働き方改革に向けた医師、看護師の人材の確保。 <b>【今後の取組】</b> 第2次能美市総合計画（地域医療の推進）において進捗管理し取り組みを行う。							

No. 27 【質の改革】市管理街灯LED化の推進（生活環境課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
市の街灯（防犯灯）整備事業により、街灯、防犯灯のLED化を促進し、安全安心なまちづくりとCO2削減を推進する。	LED化率	(H28) 20.1%	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	70.0%
			目標					
			34.2%	43.2%	36.5%	57.7%	70.0%	
			実績					
			30.7%	35.6%	38.9%	59.9%	66.9%	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・令和3年度で73基の街灯のLED化を実施した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 街灯（防犯灯）のLED化により、CO2削減や安全安心な住環境の整備が図られた。 <b>【課題】</b> LED化率100%への早期実現に向けて財源の確保を図る。 <b>【今後の取組】</b> 第2次能美市総合計画（防犯・交通安全の充実）において進捗管理し取り組みを行う。							

No. 28 【質の改革】橋梁長寿命化修繕計画に基づくライフサイクルコストの低減（土木課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
能美市橋梁長寿命化修繕計画により、整備、点検を実施し橋梁の長寿命化と修繕費用の平準化によるライフサイクルコストの低減を図る。	橋梁補修工事数	-	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 見直し・継続	⇒ 継続	⇒ 継続 (目標達成)	累計 9橋  <b>【見直し】</b> R3長寿命化修繕計画見直しによる 累計 7橋
			目標					
			1橋	累計 2橋	累計 4橋	累計 6橋	累計 7橋	
			実績					
			1橋	累計 2橋	累計 4橋	累計 6橋	累計 7橋	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・能美市橋梁長寿命化修繕計画に沿って、1橋の補修工事を実施した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 橋梁長寿命化修繕計画に沿って予防的な補修を行ったことで、橋梁の長寿命化及び安全確保が図られた。							

No. 29 【質の改革】 市営住宅長寿命化計画に基づくライフサイクルコストの低減（まち整備課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
能美市営住宅長寿命化計画により、老朽化の著しい市営住宅より初期の耐用年数以上の耐久性を目指す整備改修を進めてライフサイクルコストの低減を図る。	能美市営住宅長寿命化計画に沿って改修整備を実施	-	⇒ 見直し	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施 (目標達成)	累計 10棟
			目標					
			2棟	累計 7棟	累計 7棟	累計 8棟	累計 10棟	
			実績					
【令和3年度の取組状況】			2棟	累計 7棟	累計 7棟	累計 8棟	累計 10棟	
・市営緑町住宅の2棟で外壁、浴室、排水管の改修を行った。								
5年間の取り組みに対するまとめ	【成果】長寿命化計画に基づき、予防保全を目的とした改修を行うことで初期の耐用年数以上の耐久性が得られ、ライフサイクルコストの低減が図られた。							

No. 30 【質の改革】 公園施設長寿命化計画に基づくライフサイクルコストの低減（土木課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
能美市公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園内の健全度評価が低い施設の更新を図る。	撤去・更新・修繕の実施数	-	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	累計 47基  【見直し】 R2実施数の精査により 累計 56基
			目標					
			15基	累計 27基	累計 35基	累計 50基	累計 56基	
			実績					
【令和3年度の取組状況】			13基	累計 25基	累計 33基	累計 42基	累計 54基	
・老朽化した施設について撤去、更新あるいは修繕を実施した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	【成果】公園施設長寿命化計画に沿って改修を行ったことで、施設の安全確保が図られた。 【課題】地域住民と行政が連携し、積極的な維持管理に取り組む必要がある。 【今後の取組】第2次能美市総合計画（居住環境の充実）において進捗管理し取り組みを行う。							

No. 31 【質の改革】 上水道老朽管の更新（上下水道課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
配水管路のうち、塩化ビニル管は漏水発生率が高いため、計画的に更新（同時に耐震化）を行い、水道水の安定供給を図る。	耐震適合率（耐震整備管路延長÷全管路延長）	(H28) 5.8%	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続 (目標達成)	7.3%
			目標					
			6.1%	6.4%	6.8%	7.0%	7.3%	
			実績					
			6.3%	6.6%	6.9%	7.0%	7.4%	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・配水管布設替延長を0.42km更新（布設替え）した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 5年間で老朽管 5.14kmの更新(布設替え)を行った結果、目標を上回る耐震適合率を達成し、水道水の安定供給における環境整備が図られた。							

No. 32 【質の改革】 配水池の耐震化の促進（上下水道課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
配水池の耐震補強を推進することにより、災害時における応急給水の確保を図る。	配水池耐震施設率（レベル2地震動対応配水池容積÷全配水池容積）	(H28) 34.4%	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続 (目標達成)	48.3%  【見直し】 R3整備計画見直しによる 43.3%
			目標					
			34.4%	48.3%	48.3%	48.3%	43.3%	
			実績					
			34.4%	43.3%	43.3%	43.3%	43.3%	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・耐震補強する各施設の優先順位等の検討を行った。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 根上吉原水道管理センター配水池を新設したほか、既存配水池の耐震診断を実施した結果、目標を上回る配水池耐震施設率を達成し、災害時における応急給水の整備が図られた。							

No. 33 【質の改革】下水道重要幹線の耐震化の促進（上下水道課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
処理場に直結する幹線管渠、防災拠点及び重要道路に埋設されている管渠に対し、大規模な地震が発生した場合でも施設の機能の確保を図る。	耐震化実施率 (対策済みマンホール数÷耐震診断結果に基づく要対策マンホール数)	(H28) 30%	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続 (目標達成)	100%  【見直し】 R2計画見直しによる 60.0%
			目標					
			45.5%	51.7%	48.3%	57.6%	60.0%	
			実績					
			35.6%	40.9%	48.3%	54.4%	61.6%	
【令和3年度の取組状況】 ・マンホール浮上対策工事を9か所、管口部耐震化工事を14か所で実施した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	【成果】幹線管渠及び重要路線においてマンホール浮上対策工事や管口部耐震化工事対策工事を行った結果、目標を上回る耐震化実施率を達成し、施設の機能の確保が図られた。							

No. 34 【質の改革】消防施設整備計画に基づく消防車両等の最適な配置及び更新（消防本部庶務課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
消防車両の更新等を計画的に行い、消防力の最適な配置、効率・効果的な管理運営に努めていく。	消防施設整備計画に沿って施設の整備	-	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続 (目標達成)	累計 6台  【見直し】 R1計画見直しによる 累計 7台  【見直し】 R3計画見直しによる 累計 8台
			目標					
			1台	累計 2台	累計 4台	累計 6台	累計 8台	
			実績					
			1台	累計 2台	累計 4台	累計 6台	累計 8台	
【令和3年度の取組状況】 ・消防施設整備計画に沿って消防ポンプ自動車1台（18年経過車両）を更新し、高規格救急自動車1台を新規に整備した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	【成果】市民の安全安心につなげるため、計画どおりに車両を整備・更新し、車両の最適な配置、効率的・効果的な管理運営体制の整備が図られた。							

No. 35 【質の改革】 道路舗装の長寿命化修繕計画に基づくライフサイクルコストの低減（土木課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等	
			H29	H30	R1	R2	R3		
道路舗装の長寿命化修繕計画を策定し、維持補修費のライフサイクルコスト低減を目指す。	補修工事延長	-		⇨ 調査・計画	⇨ 実施	⇨ 実施	⇨ 実施 (目標達成)	累計 3.50km  【見直し】 <small>R2計画見直しによる</small> 累計 13.00km	
				目標					
				-	1.00km	累計 8.86km	累計 13.00km		
				実績					
			-	3.86km	累計 8.71km	累計 14.31km			
【令和3年度の取組状況】 ・長寿命化修繕計画に沿って、5.6kmの補修工事を実施した。									
5年間の取り組みに対するまとめ	【成果】長寿命化修繕計画に沿って補修を行ったことで、安全安心な道路交通の確保が図られた。								

### (3) 多様な主体との協働推進

#### ①協働の意識づくり

No. 36【質の改革】行政情報の共有化と満足度の向上（市長室）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
市民と市長が市政に関する対話を行い市政に対する理解を深めるとともに市民の意見を幅広く市政に反映する。	市民満足度調査による施策全体の総合評価	-	➡	➡	➡	➡	➡	0.5
			検討・実施	継続	継続	継続	継続 (目標達成)	
			目標					
			0.5	満足度調査未実施	0.5	満足度調査未実施	0.5	
実績								
			0.36	満足度調査未実施	0.47	満足度調査未実施	0.53	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・ 市政に対する理解を深めるため、タウンミーティングを5回開催し、延約210人の参加を得た。 ・ 市民満足度調査を実施し、市民の声や満足度・重要度などを集計分析した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> タウンミーティング等の実施により、市長の対話や意見交換を行った結果、市政に対する理解を深める市民が増え、市の施策全体に対する総合評価の目標達成が図られた。							

No. 37【質の改革】市民や市民の参加する団体の活動拠点の整備（地域振興課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
協働型のまちづくりを推進するための拠点を整備し、まちづくり団体等の連携を促す。	市民満足度調査における地域活動・市民活動に取り組む市民の割合	(H27) 48%	➡	➡	➡	➡	➡	60%
			継続	継続	継続	継続	継続	
			目標					
			50%	満足度調査未実施	55%	満足度調査未実施	60%	
実績								
			50%	満足度調査未実施	51%	満足度調査未実施	51%	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・ まちづくり活動研修会を開催し、団体による活動報告や合同研修のほか、いしかわ地域づくりコーディネーターを招聘し、まちづくりへの関心と市民活動への関心を高める取り組みを進めた。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 市民のまちづくりへの関心と市民活動への関心を高めることができた。 <b>【課題】</b> コロナ禍の影響で、市民活動への制限や制約が必要となっている。 <b>【今後の取組】</b> 第2次能美市総合計画（市民力・地域力の向上）において進捗管理し取り組みを行う。							



No. 38 【質の改革】官民協働による観光振興（観光交流課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
能美市観光アクションプランに基づき官民協働の各種観光関連事業を展開していく。	能美市への観光入り込み客数の毎年度前年度対比	-	⇒ 検討	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	3%増
			目標					
			3%増	3%増	3%増	3%増	3%増	
			実績					
			3%増	8.4%減	0.2%増	40.3%減	0.9%増	
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの影響により事業を自粛・縮小することとなったが、新しい生活様式に対応したイベントの実施に取り組み、観光入り込みの増加に向け取り組んだ。</li> <li>・新型コロナの影響により観光入込客数はコロナ禍前と比較し大幅に減少しているものの、前年度比では微増となった。</li> </ul>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】観光推進体制の充実に向けた地域活性化企業人等の官民が連携した基盤の整備が図られた。</p> <p>【課題】ウィズコロナ、ポストコロナを見据えた観光推進体制を整備する。</p> <p>【今後の取組】第2次能美市総合計画（観光と交流の推進）において進捗管理し取り組みを行う。</p>							

No. 39 【質の改革】地域福祉委員会の活性化（いきいき共生課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
いきいき共生課等、社会福祉協議会等多機関との連携を図り、ヒント探し講座等事業（地域活性化事業）の活発な利用により、地域福祉委員会のさらなる活性化及び地域力向上を目指す。	地域活性化事業等に取り組む地域福祉委員会	-	⇒ 調査	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 評価	累計 59委員会  【見直し】 R1実績による 91委員会
			目標					
			-	64委員会	累計 76委員会	累計 83委員会	累計 91委員会	
			実績					
			32委員会	累計 64委員会	累計 76委員会	累計 82委員会	累計 84委員会	
<p>【令和3年度の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の支援者が集まる機会を利用する等、地域に応じた方法で地域課題の解決に取り組んだ。</li> <li>・地域福祉委員会の活動が「年に数回の話し合いがされている」状況以上になっている委員会の数が新たに2地域福祉委員会増えた。</li> </ul>								
5年間の取り組みに対するまとめ	<p>【成果】地域福祉委員会による地域活性化事業が9割を超えて行われた。</p> <p>【課題】地域福祉委員会のメンバー構成が変わっても活動内容が継承される支援体制を整備する。</p> <p>【今後の取組】第4次地域福祉活動計画において進捗管理し取り組みを行う。</p>							

## ②協働事業の推進

### No. 40【量の改革】道路里親制度の推進（土木課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
町会・町内会、企業等が里親として登録し、植樹ますの除草、植栽、街路樹の軽易な剪定を実施することで、市道の安全と美しく潤いのある道路環境を維持し、協働での公共施設管理の推進を図る。	維持管理費	-	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	各年600千円 削減
			目標					
			600千円	600千円	600千円	600千円	600千円	
			実績					
			619千円	644千円	635千円	567千円	537千円	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・町会・町内会、企業などが里親として登録し、植樹ますの除草、植栽、街路樹の軽易な剪定を協働で実施したことで、維持管理費を537千円削減した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 市民等と協働で清掃及び緑化作業を実施することにより、景観形成につながった。 <b>【課題】</b> 高齢化等により里親の登録が減少するなか、新規里親の確保が必要となっている。 <b>【今後の取組】</b> 第2次能美市総合計画（道路の維持・整備）において進捗管理し取り組みを行う。							

### No. 41【質の改革】市民防災力「自助・共助」の強化（危機管理課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
「自助・共助」による防災力を高めるために出前講座や研修会による啓発、運営相談等の支援並びに訓練及び資機材整備に対する補助金制度による支援を行う。	訓練を実施する自主防災組織数	-	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	50組織以上
			目標					
			40組織	50組織	50組織	50組織	50組織	
			実績					
			49組織	41組織	49組織	25組織	28組織	
<b>【令和3年度の取組状況】</b> ・出前講座等により自主防災組織への訓練実施啓発を実施した。 ・地域の防災リーダー（町会・町内会長、防災士）のスキルアップ研修参加に対する支援を実施した。 ・自主防災組織への資機材整備費等の補助を行った。 ※新型コロナの影響により一部自粛となった。								
5年間の取り組みに対するまとめ	<b>【成果】</b> 「自助・共助」の意識醸成により、自主防災力を高めることができた。 <b>【課題】</b> 各地域の避難ルールづくりや防災訓練実施において引き続き支援が必要である。 <b>【今後の取組】</b> 第2次能美市総合計画（消防・防災体制の強化）において進捗管理し取り組みを行う。							

No. 42 【質の改革】 市民活動支援の実施（地域振興課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
協働型まちづくりを推進するため、市民団体等から地域活性化等の企画の実現を支援することで、後の自立化や活動の定着及び活性化を促す。	地域力創出支援事業に採択される累計団体数	(H28) 累計 12団体	➡ 継続 (目標達成)	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	累計 23団体
			目標					
			累計 15団体	累計 17団体	累計 19団体	累計 21団体	累計 23団体	
			実績					
			累計 16団体	累計 19団体	累計 19団体	累計 20団体	累計 22団体	
【令和3年度の取組状況】 ・地域課題のテーマに沿った地域活性化3事業について、補助事業として採択し支援を実施した。								
5年間の取り組みに対するまとめ	【成果】市民団体のまちづくり活動への支援を行い、協働型まちづくりの推進が図られた。 【課題】コロナ禍の影響で、市民活動への制限や制約が必要となっている。 【今後の取組】第2次能美市総合計画（市民力・地域力の向上）において進捗管理し取り組みを行う。							

No. 43 【質の改革】 敬老会の充実及び活性化（福祉課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
敬老会を、老人クラブとの協働で開催することで、敬老会の充実及び老人クラブ活動の活性化を図る。	敬老会に老人クラブと協働でおこなえるメニューを盛り込む	-	➡ 見直し・実施 (目標達成)	➡ 調整・継続 (目標達成)	➡ 継続 (目標達成)	➡ 継続	➡ 見直し (目標達成)	30分間  【見直し】 H29目標達成により 1時間 R3 地域コミュニティでの敬老事業開催
			目標					
			30分	1時間	1時間	1時間	地域コミュニティでの敬老事業開催	
			実績					
			30分	1時間	1時間	-	地域コミュニティでの敬老事業開催	
【令和3年度の取組状況】 ・令和3年度より敬老事業を町会・町内会での開催として実施し、敬老事業の充実及び活性化に取り組んだ。（74町会・町内会中、22町会・町内会）								
5年間の取り組みに対するまとめ	【成果】地域コミュニティでの敬老事業開催により、各町会・町内会での参加者数が増加した。							

### ③公共サービスの担い手の育成・支援

#### No. 44 【量の改革】ジュニアスポーツクラブ等の任意団体の自主運営化の促進（スポーツ振興課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
ジュニアスポーツクラブと総合型地域スポーツクラブとの間で事務局員の併用・単位クラブの両団体への加入等を促進させ、会員自ら企画立案、運営ができるよう自主運営に移行させる。	ジュニアスポーツクラブ等への補助金削減額	(H28) 3,400千円	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施	⇒ 実施 (目標達成)	⇒ 実施 (目標達成)	1,700千円  【見直し】 R2必要最低限とするため 各年400千円削減
			目標					
			340千円	680千円	1,020千円	400千円	400千円	
			実績					
			0千円	100千円	400千円	400千円	400千円	
【令和3年度の取組状況】								
・自主運営効率化の徹底を図り、ジュニアスポーツクラブ単位クラブの総合型地域スポーツクラブへの加入を呼び掛けた。								
5年間の取り組みに対するまとめ	【成果】自主運営効率化の徹底を図り、ジュニアスポーツクラブ単位クラブの総合型地域スポーツクラブへの加入を呼び掛け、目標の経費削減が図られた。							

#### No. 45 【質の改革】まちづくり活動の人材育成（市民力の強化）（地域振興課）

取組内容	指標等	基準値等	年度					目標値等
			H29	H30	R1	R2	R3	
協働型まちづくりの一役を担う団体を支援する。NPO化が可能な団体にはNPO設立を支援する。	石川県地域づくり協会コーディネーター派遣事業により、課題解決につながった団体数	-	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続	⇒ 継続 (目標達成)	累計 6団体
			目標					
			1団体	累計 2団体	累計 3団体	累計 4団体	累計 6団体	
			実績					
			0団体	累計 0団体	累計 2団体	累計 5団体	累計 7団体	
【令和3年度の取組状況】								
・石川地域づくり協会コーディネーター派遣を実施した。（令和3年度2回）								
・まちづくりに取組んでいる人や団体にアドバイザー派遣事業を紹介し、積極的な活用を促すとともに、課題解決への支援等を行った。								
5年間の取り組みに対するまとめ	【成果】協働型まちづくりの一役を担う団体を対象に石川地域づくりコーディネーターを派遣し、団体の活動等に対する課題解決が図られた。							

### **3. 5年間の取組結果**

平成29年度から令和3年度の効果額、事業進捗率

事業の進捗が100%に達した取組

(単位：千円、%)

基本方針	No.	量・質	取組項目	担当課	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		累計効果額
					効果額	事業進捗率	効果額	事業進捗率	効果額	事業進捗率	効果額	事業進捗率	効果額	事業進捗率	
(1) 効果的・効果的な行政運営	① 職員の資力の向上	1	人事評価制度の効率的運用と活活用の推進	総務課	0	16.3%	0	100.0%	0	87.2%	0	97.2%	0	88.3%	0
		2	職員の研修受講により資力の向上	総務課	0	0.0%	0	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	② 事務の効率化の推進	3	事務の効率化の推進による窓口証明発行手数料の適正化	市民サービス課	0	0.0%	0	0.0%	2,433	38.6%	2,420	77.0%	2,179	100.0%	7,032
		4	定型業務の効率化の推進	財政課	0	-	69	46.1%	92	100.0%	53	97.9%	37	100.0%	251
		5	行政評価に基づく効果的な施策展開の推進	企画デジタル課	0	60.6%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0
		6	情報化社会への対応	企画デジタル課	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0
	行政サービス目標に立脚した行政運営	7	マイナンバーカードの取得及び利用促進	市民サービス課	0	3.0%	0	38.0%	0	77.9%	0	100.0%	0	67.4%	0
		8	町会・町内会街灯LED化の推進	生活環境課	717	76.1%	1,740	101.5%	2,504	99.6%	2,431	91.3%	2,925	92.5%	10,317
		9	子どもを取り巻く環境(認定こども園、児童館等)の充実	子育て支援課	0	10.0%	0	50.0%	0	80.0%	0	90.0%	0	100.0%	0
(2) 持続可能な財政運営	① 事務事業の最適化	10	経常収支比率の抑制	財政課	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	72.7%	0	100.0%	0
		11	市民の自主的な運営参加による生涯スポーツ環境の構築	スポーツ振興課	1,654	100.0%	1,654	100.0%	1,654	100.0%	1,654	100.0%	1,654	100.0%	8,270
		12	自主防災組織の組織率の向上	危機管理課	0	95.8%	0	98.6%	200	98.6%	200	100.0%	200	98.6%	600
		13	家族介護支援に係る高齢者福祉制度の見直し	福祉課	0	0.0%	0	25.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	0.0%	0
		14	任意予防接種の公費助成のあり方の検討	健康推進課	0	0.0%	0	7.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	77.3%	0
		15	脳の健康度チェックによる認知症等の早期発見、治療、進行防止	健康推進課	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0
		16	国民健康保険特別会計の健全な運営	保険年金課	0	22.1%	0	43.4%	0	81.1%	0	66.7%	0	0.0%	0
	17	公園整備に係る補助制度の見直し	まなび文化課	0	20.0%	0	40.0%	198	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	198	
	② 積極的な財源の確保	18	財源確保と市有地維持管理費の経費削減	管財課	11,072	14.1%	8,707	25.2%	77,081	100.0%	17,430	95.5%	0	95.5%	114,290
		19	ふるさと納税の推進	企画デジタル課	158	1.0%	4,228	26.4%	14,371	89.8%	15,092	50.3%	44,014	100.0%	77,863
		20	債権管理の一元化	税務債権課	191,000	66.1%	106,000	102.8%	53,000	80.6%	55,000	93.3%	29,000	100.0%	434,000
		21	収納率の向上	税務債権課	0	100.0%	0	100.0%	0	89.0%	0	100.0%	0	100.0%	0
		22	作成伝票の整理(枚数の削減)	会計課	0	-	0	13.0%	0	30.0%	0	50.0%	0	100.0%	0
		23	し尿処理施設の老朽化対策及び処理経費の削減	生活環境課	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
		24	学習施設等の運営方法の見直し	まなび文化課	0	30.0%	0	30.0%	0	30.0%	0	40.0%	0	50.0%	0
		25	下水道接続率の向上	上下水道課	2,867	14.3%	2,304	21.4%	0	28.6%	0	80.0%	0	100.0%	5,171
		26	病院経営の安定化に向けた収益の増加及び地域包括ケアシステムの構築に向けた病棟再編の推進	市立病院	0	25.0%	19,279	23.3%	0	23.3%	0	10.3%	0	16.1%	19,279
27		市(生活環境課)管理街灯LED化の推進	生活環境課	406	43.9%	605	50.9%	655	55.5%	946	85.6%	1,336	95.6%	3,948	
③ 公共施設の最適な配置と効果的・効果的な管理	28	橋梁長寿命化修繕計画に基づくライフサイクルコストの低減	土木課	0	3.2%	0	6.5%	0	12.9%	0	66.7%	0	100.0%	0	
	29	市営住宅長寿命化計画に基づくライフサイクルコストの低減	まち整備課	0	20.0%	0	70.0%	0	70.0%	0	80.0%	0	100.0%	0	
	30	公園施設長寿命化計画に基づくライフサイクルコストの低減	土木課	0	27.7%	0	53.2%	0	70.2%	0	75.0%	0	96.4%	0	
	31	上下水道老朽管の更新	上下水道課	0	33.3%	0	53.3%	0	73.3%	0	80.0%	0	100.0%	0	
	32	配水池の耐震化の促進	上下水道課	0	0.0%	0	64.0%	0	64.0%	0	64.0%	0	100.0%	0	
	33	下水道重要幹線の耐震化の促進	上下水道課	0	8.0%	0	15.5%	0	26.1%	0	81.3%	0	100.0%	0	
	34	消防施設整備計画に基づく消防車両等の最適な配置及び更新	消防本部	0	14.3%	0	28.6%	0	57.1%	0	85.7%	0	100.0%	0	
	35	道路舗装の長寿命化修繕計画に基づくライフサイクルコストの低減	土木課				0.0%	0	29.7%	0	67.0%	0	100.0%	0	
(3) 多様な主体との協働推進	① 協働の意識づくり	36	行政情報の共有化と満足度の向上	市長室	0	72.0%	0	-	0	94.0%	0	-	0	100.0%	0
		37	市民や市民の参加する団体の活動拠点の整備	地域振興課	0	16.7%	0	-	0	25.0%	0	-	0	25.0%	0
		38	官民協働による観光振興	観光交流課	0	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
		39	地域福祉委員会の活性化	いきいき共生課	0	35.1%	0	70.3%	0	83.5%	0	90.1%	0	92.3%	0
	② 協働事業の推進	40	道路里親制度の推進	土木課	619	100.0%	644	100.0%	635	95.7%	567	97.9%	537	93.6%	3,002
		41	市民防災力「自助・共助」の強化	危機管理課	0	98.0%	0	82.0%	0	98.0%	0	50.0%	0	56.0%	0
		42	市民活動支援の実施	地域振興課	0	36.4%	0	63.6%	0	63.6%	0	72.7%	0	90.9%	0
		43	敬老会の充実及び活性化	福祉課	100	100.0%	0	100.0%	0	100.0%	0	-	0	100.0%	100
	③ 公共サービスの支え	44	ジュニアスポーツクラブ等の任意団体の自主運営の促進	スポーツ振興課	0	0.0%	100	3.0%	400	23.5%	400	100.0%	400	100.0%	1,300
		45	まちづくり活動の人材育成(市民力の強化)	地域振興課	0	0.0%	0	0.0%	0	33.3%	0	83.3%	0	100.0%	0
総計					208,593	-	145,330	-	153,223	-	96,193	-	82,282	-	685,621



**第3次能美市行財政改革大綱実施計画書**

令和4年6月策定

能美市総務部財政課行財政改革推進室

〒923-1297 石川県能美市来丸町1110番地

TEL 0761-58-2203 FAX 0761-58-2290